

ホタテガイ採苗速報

東湾の稚貝採取は、1分5厘では8月1日頃から、 2分では8月10日頃からできる見込み

1 各地採苗器への付着状況

7月23日～25日に行った第2回全湾臨時付着稚貝調査の結果は、図1～3および表1(別表)のとおりです。

ホタテガイ稚貝の平均殻長は、袋替えや間引きをしていない西湾の久栗坂実験漁場で5.01mm、東湾の袋替えや間引きをしたものでは3.06mmでした。

1.5分のフルイで採取可能な目安となる殻長4mm以上の稚貝は、久栗坂実験漁場では83.8%、東湾では12.2%、2分のフルイで採取可能な殻長6mm以上の稚貝は、久栗坂実験漁場では1.5%、東湾では0.3%でした。

2 海況

各ブイの7月19日～25日の平均水温は、表2のとおりです。

表2 各ブイの1週間(7/19～7/25)の平均水温

観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)
平館ブイ	14.4～19.3	東湾ブイ	10.9～19.1	横浜ブイ	14.2～19.6
蓬田ブイ	17.1～19.6	東田沢ブイ	15.9～18.9	浜奥内ブイ	16.1～19.9
奥内ブイ	18.7～20.0	清水川ブイ	15.4～19.4	川内ブイ	17.4～19.3
青森ブイ	13.5～19.7	野辺地ブイ	16.1～19.7	脇野沢ブイ	17.1～19.3

3 今後の見込み

稚貝の大きさから判断して、**東湾の稚貝採取は、1分5厘で採取する場合は8月1日頃から、2分で採取する場合は8月10日頃からできる見込みです**。ただし、付着数や袋替え、間引きの時期や今後の水温の動向によって成長に差があるので、稚貝の成育状況を見ながら作業を進めてください。

4 稚貝採取時の注意事項

*稚貝を大切に扱きましょう。

○作業は**早朝の涼しい時間帯に行い**、タライや水槽の水温が上がらないように、シート等で**直射日光を防ぎましょう**。

○タライや水槽の水は出来るだけ深い水深帯から汲み上げ、かけ流しにしましょう。かけ流しにできない人は、タライの海水を頻繁に交換してください。かけ流しまたは海水の交換がないと**水温上昇および酸欠で稚貝が死ぬか、または後遺症が残ることがあります**。

○稚貝は、海水温が26℃を超えるとへい死する恐れがあります。海水温を計って、**26℃を超す日は稚貝採取をしないでください**。

○**稚貝は乾燥にも弱い**ので、手早く作業を行いましょう。

*適正保有数、適正収容数を守りましょう。

○**稚貝採取では決められた保有数を守りましょう**。

○**パールネット1段当たりの収容数を適正にしましょう**。

*採取後の管理に気をつけましょう。

○採取後の稚貝が足糸でネットに付着しているかどうか見ながら作業を進めましょう。

○水深が浅いほど水温は高く、潮も速いので、**採取後は施設を中層以深に沈めましょう**。また、立ちきり(土俵)やオモリをつけて、**施設やネットを安定させましょう**。

○採取後も一部の採苗器を残しておきましょう。

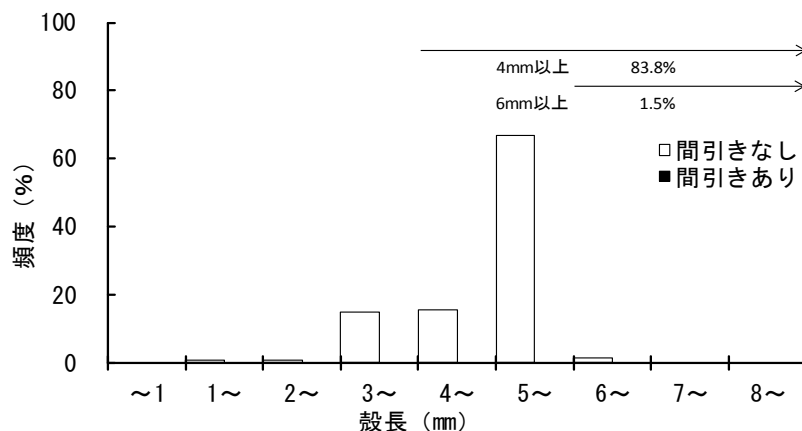


図1 ホタテガイの殻長組成(久栗坂実験漁場)

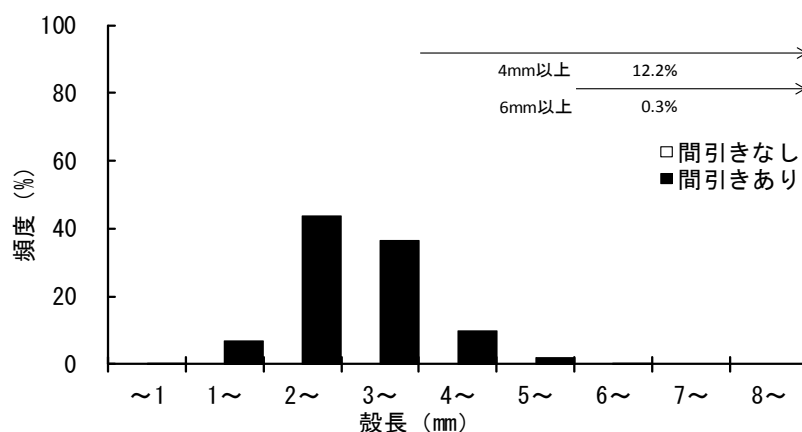
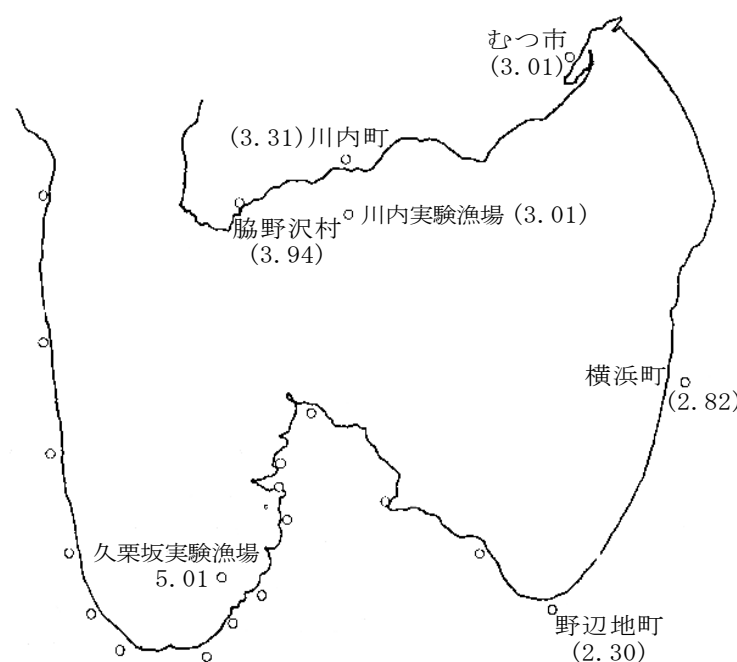


図2 ホタテガイの殻長組成(東湾平均)



() 内は袋替え、間引き後の平均殻長

図3 調査地点毎の平均殻長[単位:mm]

